

2-1 人材育成

林業行政の専門的な支援

根室市

○根室市では、森林経営計画の作成の促進と計画的な森林整備のほか、地域の関係者と連携を図りながら、新規就業者の確保や通年雇用化の促進、就業環境の改善など、林業就業者の安定確保に向けた取組を進める。



地域林政アドバイザーによる技術支援の様子

根室市の取り組み：

森林経営管理推進業務委託

事業内容

森林・林業行政の専門的な支援を受けながら、低迷する森林整備を推進し森林資源を有効活用する体制を構築。

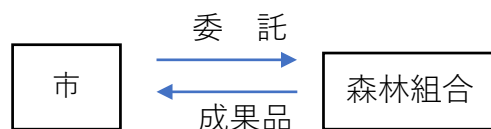
事業費

3,960千円（全額譲与税）

実績

森林経営計画実行管理や造林事業実施に関する技術支援（現地調査）など、地域林政アドバイザーならではの支援を得たなかで森林・林業行政を支援する体制を構築。

スキーム



根室市の取り組み：

林業・木材産業人材育成支援協議会負担金

事業内容

北の森づくり専門学院生の就学支援など本道の林業・木材産業の次代を担う人材の育成支援に取り組む。

実績

北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への賛助金を通して、北海道立北の森づくり専門学院生に対する就学支援や企業情報の提供等を行うなどして、林業・木材産業の次代を担う人材の育成支援に取り組むことができた。

事業費

30千円（全額譲与税）

スキーム



工夫・留意した点

○森林経営計画実行管理や造林事業実施に関する技術支援（現地調査）など、地域林政アドバイザーならではの支援を受けた。

その他

○令和3年度においては、更に、担い手確保を推進するために、林業従事者の就労環境を安全で衛生的なものに改善を図り、安全意識の向上及び林業労働災害を抑制することを目的とした事業を対象に補助金を交付するなど進めて行くこととしている。

【問い合わせ先】 根室市水産経済部農林課／☎0153-23-6111

2-2 人材育成

森町地域サポート部会の担い手育成支援

森町

○令和2年度に開校した「北海道立北の森づくり専門学院」(北森カレッジ)の実践実習拠点のうち、道南地域における実習フィールド、外部講師の選定等地域性を活かした実践実習プログラムを道南地域支援協議会(事務局：森町)が作成する方針。



コンセプトブックの作成



北の森づくり専門学院(旭川市)

森町の取り組み：

北森カレッジ実践実習プログラム

事業内容

地域特有の専門的な知識・技術や地域の抱える課題の把握、地域イベントへの参画など、地域に根差した多様な実習内容を学院へ提案する予定。

事業費

－千円(全額譲与税)

実績

令和3年11月実施予定

森町の取り組み：

森町の林業・林産業(お仕事ガイド)広報資料の作成

事業内容

当町で林業・木材産業に従事している「人」をメインにしたコンセプトブックを作成した。

生産者の顔が見えることにより、学生の職業観がより明確にイメージできる資料を作成した。

事業費

1,150千円(全額譲与税)

実績

500冊作成し学院等へ配布

森町の取り組み：

北森カレッジ、林業・林産試験場の視察

事業内容

北森カレッジ本校舎と(地独)森林研究本部林産試験場及び林業試験場を視察した。

本校舎の教育内容、施設環境及び北海道の林業・木材産業の試験研究機関における最新の研究内容を視察した。

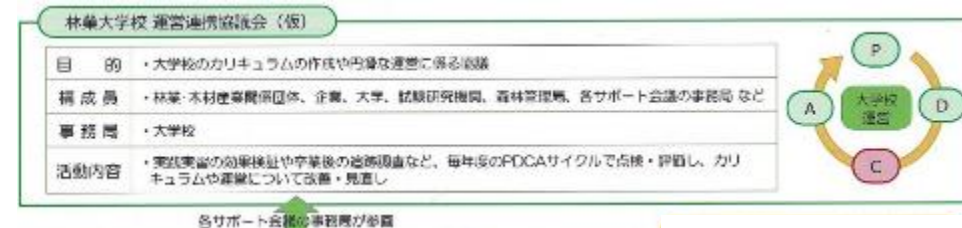
事業費

215千円(全額譲与税)

実績

実践実習プログラムに反映

スキーム



工夫・留意した点

○当町では林業・木材産業に携わる民間企業と外部有識者からなる「森町地域サポート部会」を設立。

その他の

○人工林資源が利用期を迎え伐採や造林などの林業生産活動が活性化している中、林業・木材産業の新たな魅力を見出し、地域への関心を醸成し地元への定着・就業促進を早急に体制整備する必要がある。

【問い合わせ先】 森町農林課 / ☎01374-7-1086

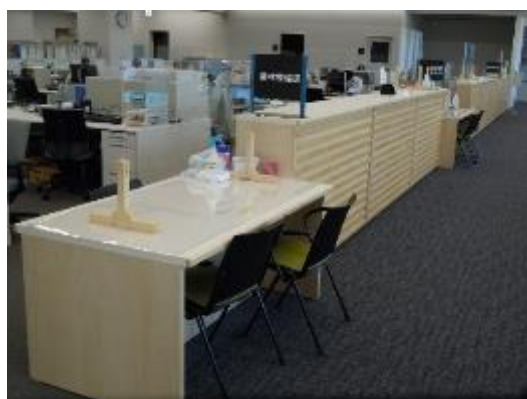
地域材活用備品の展示・普及啓発活動

北見市

○北見市では、森林の有する温室効果ガスの吸収や災害防止機能などの多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、川上から川下に至るまでの各種施策を一体的に実施する方針。



地域材活用備品



対面カウンター（窓口）



キッズコーナー



森林環境整備啓発資料

北見市の取り組み：

北見市新庁舎での地域材活用備品の整備

事業内容

北見市新庁舎の整備に合わせて、市民の触れる機会が多い箇所に地域材を活用した備品を設置し、普及啓発を図る。

事業費

森林整備地域材利用普及啓発事業費：2,880千円（全額譲与税）
 庁舎整備事業費（備品購入費）の一部：18,912千円（全額譲与税）

実績

- 庁舎1階：市民ラウンジ及び待合場所ベンチ、キッズコーナー
- 庁舎2階：市民ラウンジ休憩スペース柵（CLT活用）、市民交流サロン移動式カウンター
- 庁舎5階：事務室対面カウンター、窓口机、アクリル板

スキーム

地域の森林環境整備に繋がるように、発注にあたり地域材を活用することを条件とした。
 備品は、共通スペースで多くの市民が利用する場所に置くことで、普及啓発効果が期待できる。

工夫・留意した点

- 地域材の普及啓発と併せて、CLTを見せる備品も整備し、合わせてPRを実施。
- 普及啓発資料をパネル化し、地域材活用備品に常時掲示し、普及啓発活動を継続して行っている。

その他の

- 北見市新庁舎建設事業に合わせて、可能な範囲で地域材を活用した備品を導入し、市民の目に触れる機会を増やすとともに、地域材活用備品に森林の役割等多面的機能を紹介するポスターを常時掲示し、将来的な地域材の利用促進、森林環境整備の啓発活動を実施。

【問い合わせ先】 北見市農林水産部農林整備課／☎0157-25-1143

公共施設の木材利用促進及び普及啓発事業

浜頓別町

○浜頓別町では、森林環境譲与税の創設を契機に、木材利用や普及啓発活動を通じた住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでいく方針。



記念品贈呈事業



道産材備品導入事業



浜頓別町の取り組み：

公共施設の道産材備品導入事業

事業内容

北海道産材を活用し、浜頓別町こども園に備品導入を実施。

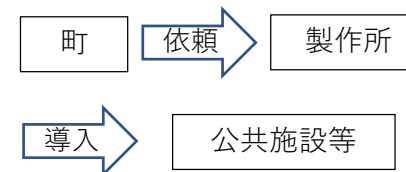
事業費

816千円（全額譲与税）

実績

臼（3升用）1台。
杵3本・箱積み木22台。

スキーム



浜頓別町の取り組み：

結婚・出生祝い記念品贈呈事業

事業内容

北海道産材を活用し、町民で婚姻届及び出生届を提出した方にフォトフレームを贈呈。

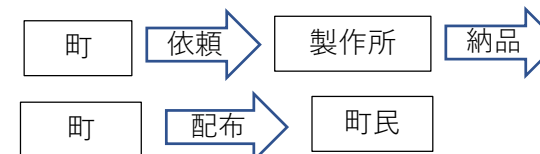
事業費

240千円（全額譲与税）

実績

30件

スキーム



工夫・留意した点

○道産材を使用した木製品を新たに整備することにより、北海道の木材利用の促進に繋げ、さらには木材に触れることによる木育の推進に繋がるようにしている。

その他の

○公共施設に北海道産材を使った備品の導入と地域住民へ木製品の配布をととして普及啓発活動を実施。

○令和3年度においては、公共施設の道産材を使った備品導入の拡大を図る予定。

【問い合わせ先】 浜頓別町産業振興課／☎01634-2-2346

木材利用促進及び普及啓発事業

浜頓別町

○浜頓別町では、森林環境譲与税の創設を契機に、木材利用や普及啓発活動を通じた住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでいく方針。



森林・林業学習・体験活動事業



森林・林業学習・体験活動事業



浜頓別町の取り組み：

森林・林業学習・体験活動事業

事業内容

児童を対象に、当町の森林及び林業について学習後、北海道産材を使用した壁掛け時計づくりを実施。

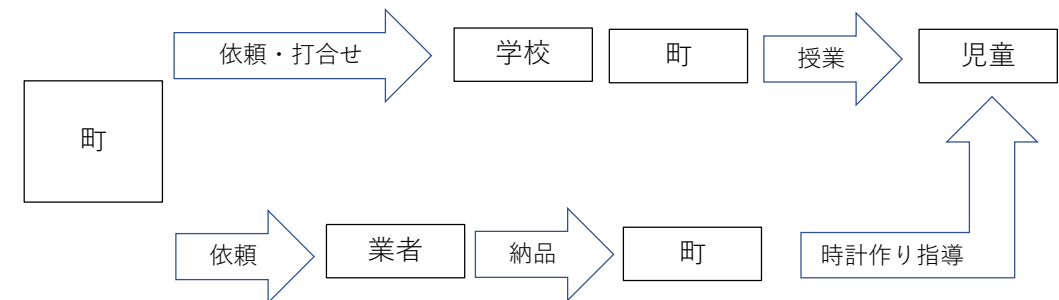
事業費

96千円（全額譲与税）

実績

参加者34人（浜頓別町学童保育所）

スキーム



工夫・留意した点

○体験活動を行う前に森林及び林業について、学習を実施し、森林整備の結びつきの理解を深めた。

その他の

○北海道産材を活用し、児童を対象とした森林・林業学習・体験活動を実施し、木材利用と森林整備の結びつきについての理解を促した。

○令和3年度においては、森林・林業学習・体験活動事業の拡大を図ると共に、町民全体で支える森林づくり理解・醸成を図る予定。

【問い合わせ先】 浜頓別町産業振興課／☎01634-2-2346

公共施設の木質化

小樽市

○小樽市では、中心市街に近接した市有林内でのレクリエーション利用を活性化させ、森林の環境整備（施設の木質化等）を進めることで、広く市民へ森林の機能や効果を身近に感じてもらい、森林環境譲与税の活用を普及啓発して行く方針。



遊歩道案内看板



マップ部分は、耐候性素材使用



カラマツ材看板の支柱



小樽市の取り組み：

公共施設の木質化と森林の公益的機能の普及啓発 (旭展望台周辺環境整備事業)

事業内容

市民が森林をより身近に感じ、親しむ場として活用する機会を増やすため、旭展望台周辺の環境整備（遊歩道看板整備）を実施。

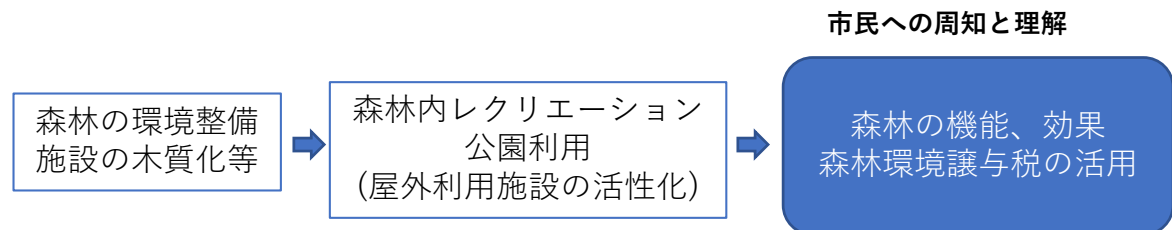
事業費

2,528千円（全額譲与税）

実績

森林内の18コースの遊歩道起点部、終点部に地場材を使用した案内看板を設置、全コースの距離など情報を記したマップとした。

スキーム



工夫・留意した点

○地域材である、カラマツ材を活用したオリジナル看板経年の木材腐食と交換を考慮して、本体は木材、支柱は鋼材とし、脱着可能なステンレスバンド4個所で結束固定している。

その他の点

○令和2年度は、遊歩道看板36個所、東屋スロープ1個所、木製ベンチ4基、公園用木製ベンチ3基の設置。
○令和3年度は、大型看板2基、アスレチック遊具3基、公園用野外卓3基の設置予定。

【問い合わせ先】 小樽市産業港湾部主幹（森林整備担当）／
☎0134-32-4111（内線258）

地域材利用推進事業の実施

北見市

○北見市では、森林の有する温室効果ガスの吸収や災害防止機能などの多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、川上から川下に至るまでの各種施策を一体的に実施する方針。



ハーベスター付油圧ショベル



ランバーフォーク付ホイールローダ

北見市の取り組み：

北見市地域材利用推進林業等振興対策事業

事業内容

高性能林業機械、木材加工施設の整備、木質バイオマス利用施設等整備・地域材利用施設等の整備を行う事業者に対する助成を実施。

事業費

12,727千円（全額譲与税）

実績

林業機械（ハーベスター付油圧ショベル）導入整備 1件
木材加工施設用機械（ランバーフォーク付ホイールローダー）導入整備 1件

スキーム



工夫・留意した点

- 公平性の確保の観点から、公募方式とし、予算を上回る申請があっても予算の範囲内での按分とした。
- 補助金交付後5年間は本事業の補助対象外とした。
- 事前評価と事後評価による事業実施の効果・検証を行う仕組みを導入。
- 条件により古品古材も事業対象とした。

その他の

- 北見市地域材利用推進方針の効果的な取り組みに向け、持続可能な森林整備の推進並びに地域材の安定供給及び利用促進を図ることを目的に、高性能林業機械の導入を支援(川上)するとともに、木材加工施設の整備、木質バイオマス・地域材利用施設等の整備(川中・川下)に対する支援を実施。
- 林業機械整備1件、木材加工施設用機械整備1件の助成を実施。

【問い合わせ先】 北見市農林水産部農林整備課 / ☎0157-25-1143

道南スギ学習机天板交換プロジェクト

長万部町

○長万部町では、町内2校の小学校を対象に、『道南スギ学習机用天板交換プロジェクト』を実施することとし、森林整備の促進に係る地域材の利用拡大、及び、木に触れ木を身近に感じ、木の素晴らしさ、森のすごさ、木（モノ）を大切に作る豊かな心を育む、木育の推進を図っていく方針。



天板交換風景



天板メンテナンス風景



長万部町の取り組み：

道南スギ学習机用天板交換プロジェクト

事業内容

道南スギを使用した学習机用天板に交換、及び、メンテナンスを実施。

事業費

1,550千円（全額譲与税）

実績

購入数：230枚 木材使用量：1.68㎡ 交換実績：1校（5名）

スキーム



工夫・留意した点

○北海道及び木育マイスター道南支部からの支援を受け、近隣市町村で実施した天板交換の技術を指導いただき、子供たちが作業しやすいよう工夫。

その他の

○新型コロナウイルス感染症の影響により町内2校のうち1校の学習机の天板を交換しメンテナンスも実施。残りの1校については、令和3年度に実施予定。

○令和3年度においては、更に、卒業生に対し使用した天板に寄せ書き等をおこない、記念品としてプレゼント出来るよう取組を進めて行くこととしている。

【問い合わせ先】 長万部町産業振興課農林係／☎01377-2-2455

森林資源有効活用搬出支援事業

せたな町

○せたな町の森林は、林業生産活動が積極的に実施されるべき人工林帯と広葉樹が林立する天然性の樹林帯まで多様性に富んだ林分構成になっており、地球温暖化の防止や、山から川及び海へと深いつながりを住民が意識しつつ、適切な森林の整備及び保全を図るとともに、環境に優しい素材である木材の有効活用の観点から、健全な森林資源の維持造成を推進する方針。



林内搬出状況



林道から搬出状況

せたな町の取り組み：

低質材等の運搬経費への支援

事業内容

森林法の規定に基づき適正に伐採されたことにより発生したパルプ材や低質材等の運搬経費に対する支援（2,000円/m³）を実施。

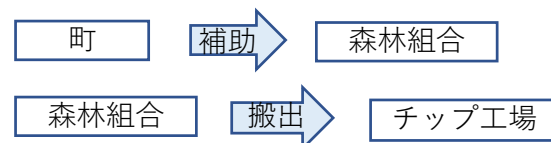
実績

搬出材積 2,750m³

事業費

5,500千円（全額譲与税）

スキーム



せたな町の取り組み：

森林所有者への意向調査

事業内容

森林経営管理法の施行により、森林所有者の責務が強化されたことを周知し、森林経営計画の面的まとまりを拡大するため、森林所有者に対し、森林の経営管理の意向を調査。

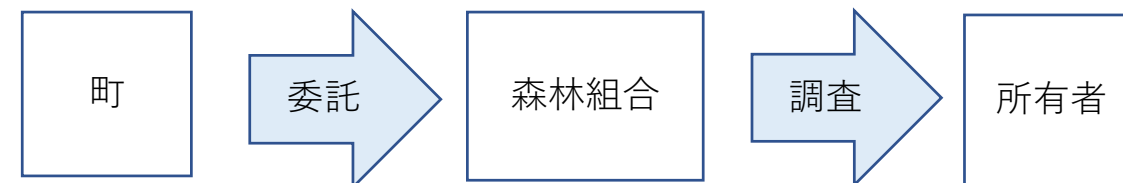
事業費

1,958千円（全額譲与税）

実績

調査面積342ha(100人分)

スキーム



工夫・留意した点

- 隣接町のチップ工場に搬入することで水田の大規模基盤整備事業の暗渠疎水材として、大量に確実な利用につながった。
- 道や事業者と協議するとともに、町内を戸別訪問するなど、森林所有者から確実な回答を得ることができた。

その他の

- 森林所有者100名の意向調査に取り組み、風倒被害により被災した町有林を材の売り払い収入と譲与税基金により復旧し、枝打ちなどの公有林における森林施業を実施した。
- 令和3年度においても、更に林地残材等森林資源の有効活用を進めて行く。

【問い合わせ先】 せたな町水産林務課／☎0137-84-5111

木質バイオマス、薪ストーブの促進

中頓別町

○森林資源の循環利用による林業の成長産業化を進めるため、地域材の活用方法のひとつとして森林整備に伴い発生する林地未利用材や、低質材の木質バイオマスエネルギーとしての利用を促進するため森林環境譲与税を活用する方針。



設置した薪ストーブ



正面玄関に積まれた薪

中頓別町の取り組み：

木質バイオマスエネルギーの利活用施設の導入

事業内容

薪ストーブのぬくもりを体験してもらう事により、森林に囲まれた「木材の町・中頓別町」らしい薪ストーブを活用した豊かな生活の提案を行う。

冬季間中毎日役場町民ホールで稼働させ、薪ストーブ及び、木質バイオマスエネルギー利活用への町民の興味関心を集める。

再生可能なエネルギーである「薪」の利用を通じて、森林環境保全・地球温暖化対策へ町民の意識を向ける。

事業費

3,694千円（全額譲与税）

実績

町民ホールに薪ストーブを設置。

スキーム

1月	設置・設計の検討	10月	薪の発注
6月	補正予算計上	12月	工事開始、設置完了、稼働開始
8月	工事発注		

工夫・留意した点

- 町民ホールに設置することにより、来庁した町民が気軽に暖を取ったり、興味を持って見学できるようにした。
- 木質バイオマスエネルギーへの理解促進のため、木育イベントの際などに薪ストーブ上段のオープンを使用して実際にピザを調理。
- 薪について、令和2年度は外部から購入したが、令和3年度以降は町で生産された薪を利用する予定である。

その他の

- 町民等の木材の利用拡大に向けた自立的な動きに繋げていくため、町民等に波及効果の高い町民ホールに薪ストーブを設置し木質バイオマスエネルギー利活用のPRを実施。
- 令和3年度は中頓別町産材で作られた薪を使用し地域材のPR及び薪ストーブユーザー等を対象とした市場調査を実施。
- 調査結果を踏まえた販売戦略を検討。

【問い合わせ先】 中頓別町産業課／☎01634-6-1111

SDGs 脱プラ対策の実施

興部町

○興部町では、森林環境譲与税の創設を契機に、木材利用や普及啓発活動を通じ住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでいく方針。



木製スプーン



白樺のカップ

興部町の取り組み：

木材利用・普及啓発

事業内容

興部町の一次産業は農業であり、町内にはアイスクリームやチーズなどの乳製品を販売している店舗等が多くあり、全ての店舗などでプラスチック製のスプーンを利用していることから、森林環境譲与税を活用し町内のアイスクリーム販売店舗へプラスチックから道産材で製作した木製スプーンへの転換を推進し、掛かり増し経費の助成を行った。

木製スプーンに各店舗ごとのオリジナルロゴを刻印することで店舗のPRやSDGsの推進にも繋がるとともに、木材利用・木材の普及啓発につとめる。

事業費

962千円（うち譲与税961千円）

実績

5店舗×各10,000本 ～ 50,000本

工夫・留意した点

- この事業は、木材利用・普及啓発になることから、各店舗に地域材(シラカバ)を削り貫いたカップに木製スプーンを入れ販売ブースに置くことで来場者(来客)が自由に取り出すことが出来るようにした。
- 今後、木製スプーンを製造する際に、興部町の森林認証材を活用することで、木材地消の取組として森林整備への貢献、地域の木製品の利用促進を目指す。

その他

- 興部町は管内でも有数の酪農地帯であり、アイスクリームやチーズなどの乳製品を販売している店舗が多くあることから森林環境譲与税を活用し、プラスチックなどのスプーンから木製スプーンに転換する際の掛かり増し経費に対する助成により木材利用・普及啓発活動を実施。

【問い合わせ先】 興部町産業振興課 / ☎0158-82-2134

3-7 木材利用・普及啓発

木材の利用促進、地域材の普及啓発の取り組み

むかわ町

○むかわ町の森林面積は、総面積の約80%を占めている。森林を活かした教育と交流の施策をまちづくり計画に掲げており、地域材の利用促進と森林づくりに対する理解の醸成と森林や木の恵みを活かした木育の推進を図る方針。



森の輪



中村記念公園の一部（着工後）

むかわ町の取り組み：

中村記念公園維持補修

事業内容

公園散策路の階段と木柵の補修。

事業費

4,400千円（全額譲与税）

実績

地域材 13.47m³

むかわ町の取り組み：

木育普及推進委託業務

事業内容

むかわ町産材イタヤカエデを使用し、苫小牧広域森林組合で加工した「オールむかわ町」にこだわった木製玩具「森の輪」を作製。

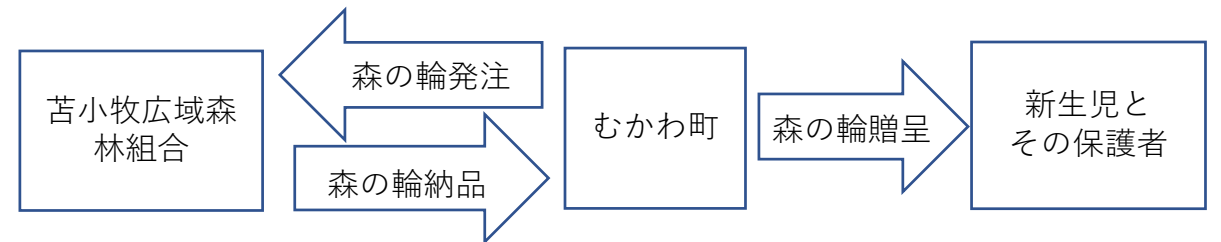
事業費

1,595千円（全額譲与税）

実績

木製玩具 100個（80mm×80mm×20mm）

スキーム



工夫・留意した点

- 新生児が口にしてもいいように製品をすべて日本食品分析センターで検品し、安心して使用できるものとした。
- 地域材を用いて補修を行い、森林公園としての景観を維持するほか、木材の利用促進、地域材の普及啓発に寄与した。

その他

- 中村記念公園維持補修は、経年で傷んできた公園内の散策路における階段と木柵の補修を行った。
- 令和3年度においては、木育普及推進委託業務において、新生児に対し木製玩具を贈呈していく取り組みを行う。

【問い合わせ先】 むかわ町農林水産課／☎0145-45-2116

3-8 木材利用・普及啓発

乳幼児への木製玩具配布や木製遊具を活用した普及啓発

平取町

○平取町では、森林環境譲与税を活用して乳幼児へ木製玩具等の配布及び地域材を使用した木製遊具を製作し各種イベント等で設置することで木材利用の推進及び地域住民の森林整備に対する理解の醸成に取り組んでいく方針。



ウッドトイふれあい事業



木育広場事業



木育広場事業

平取町の取り組み：

平取町木育推進事業（ウッドトイふれあい事業）

事業内容

乳幼児への木製玩具等の配布。

事業費

383千円（全額譲与税）

実績

26名に配布。

スキーム



平取町の取り組み：

平取町木育推進事業（木育広場事業）

事業内容

地域材を使用した木製遊具の製作。

事業費

986千円（うち譲与税986千円）

実績

木のプールを製作。
※令和3年度より利用開始。

スキーム

町がイベント等で設置。
町内の団体等への貸付。（無償）

工夫・留意した点

- ウッドトイふれあい事業
 - ・4種類の木製玩具等のなかから選択できるようにしている。
 - ・対象となる乳幼児の名前を印字して贈呈。
- 木育広場事業
 - ・地域材を使用して製作した。

その他の

- 令和3年度においては、引継ぎ乳幼児へ木製玩具等の配布を行い、令和2年度に製作した木製遊具についても各種イベント等で設置することで木材利用の推進及び地域住民の森林整備に対する理解促進を図る。

【問い合わせ先】 平取町産業課／☎01457-2-2223

4-1 林業就業者の育成

林業労働環境の安全衛生推進

津別町

○林業従事者の安定的な就業の促進を図るとともに、林業従事者が就業する作業現場における安全かつ効率的な労働環境を整備し、安全意識の向上及び林業労働災害の抑制を目指す方針。



グラップルソー



苗木運搬用ドローン

津別町の取り組み：

津別町林業労働安全衛生推進事業 (労働安全装備品の購入に対する補助)

事業内容

林業従事者の就労環境を安全で衛生的なものに改善するための労働安全装備品（防護衣、手袋、安全靴、保護帽、アシストスーツ、ファン付き作業着など）の購入に対する補助。(対象経費の3分の2)補助。

実績

切創防止用チャップス、アシストスーツ、ファン付き作業着、ネッククーラーなど36点に対する購入補助。

事業費

355千円（全額譲与税）

津別町の取り組み：

津別町林業労働安全衛生推進事業 (林業機械等の購入に対する補助)

事業内容

造林・造材作業の効率化と安全性を高める林業機械等（集材用トラクタ、グラップル、グラップルソー、ショベルの機能を有するグラップル、フェラーバンチャ、ハーベスタ、プロセッサ、フォワーダ、スキッドなど）の購入に対する補助。（対象経費の2分の1 上限額1,000千円）

事業費

4,000千円（全額譲与税）

実績

グラップルソー1台、集材用トラクタ2台、苗木運搬用ドローン1台

工夫・留意した点

- 労働安全装備品の購入に対する補助
・他機関が実施している従来の労働安全装備品の購入補助事業について、事前に補助申請し、交付決定を得てから、装備品を購入する必要があると、事務が煩雑であるという意見を反映させ、購入実績に対する補助とした。
- 林業機械等の購入に対する補助
・高性能林業機械を含めた「重機」を主な補助対象としているが、林業労働現場への先端技術の導入を見据えて、対象機種について柔軟に補助に対応できるようにした。

その他の

- 津別町は町の面積71,680haのうち森林面積は61,413haを占め、町の森林率は86%に及ぶ。
- 昭和57年（1982年）に日本の林業の発展を願い、森林資源の持続的な保全・活用を目指し、全国の自治体に先駆け「愛林のまち」を宣言。
- 町内に林業事業者5社を有し、いずれの林業事業者も作業員の不足と高齢化に悩んでおり、全産業において従事者の不足が問題となる中、林業労働環境の改善とイメージアップが求められる。

【問い合わせ先】 津別町産業振興課 / ☎0152-77-8386